

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	白砂
	全体計画						経費区分		-		内線	3007
事務事業名	4043 国際交流等事業											
所 属	050200 総務部・政策推進課											
施 策	07023800 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費										
	事業	040000 国際交流等事業										
事業目的						事業概要・効果						
国際化の進展に伴い、友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進する。						<p>平成6年度の中国吉林省四平市との国際友好都市の締結から21年経過し、親善交流事業として行っている友好訪問などは両市の友好と交流に寄与している。</p> <p>また、様々な機会を通じ、国際交流の進展を図る。平成28年度は長野県及び須坂市日中友好協会創立60周年という節目の年を迎え、それぞれ記念式典を実施したほか、2020東京オリパラホストタウンに県との共同参加を表明したことで、オリパラを通じ友好都市のみならず、中国全域との交流に発展することが期待される。</p>						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 県と5市町合同で、中国を相手国とする2020東京オリパラに登録。公民館事業を中心に交流事業を展開する
平成29年度 実績	平成30年度 予定
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 日中国交正常化45周年記念中学生卓球交歓大会参加に伴い親善訪問団結成し、友好都市四平市を訪問 四平市親善訪日団の受け入れ	中学生卓球交流大会に伴う四平市選手団の受け入れ
平成31年度 予定	平成32年度 予定
友好都市締結25周年訪中	未定

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		1,381	1,661
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,381	1,661
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.2	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	714.9	714.9
	嘱託職員	553.2	829.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,268.1	1,544.7
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		2,649.1	3,205.7

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	173	通訳謝礼80、お土産74 ほか
11節 需用費	307	訪日団受入食事代262、名札代29 ほか
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	111	2020ホストタウン長野県実行委員会負担金
その他	790	旅費

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	111	ホストタウン長野県実行委員会負担金
その他	1,550	旅費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	友好都市との交流は、行政が主体的に関わるべきである。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	長く交流が滞っていた時期もあったが、近年は中国側が積極的に海外へ出ていることもあり、友好都市に留まらず海外から多くのお客様をお迎えし、市民との交流を深めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	友好都市との取り決めにより、毎年固定額を予算計上している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

昨年は平成20年度以来となる四平市訪日団をお迎えし、須坂市の社会福祉施設などを熱心に視察された。訪問先で多くの市内企業や市民との交流を通じ、国際化に対応した人づくりを推進することができた。

ACTION**1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>日中国交正常化45周年記念中学生卓球交歓大会参加に伴い親善訪問団結成し、友好都市四平市を訪問した。また、平成20年度以来となる四平市親善訪日団をお迎えするなど交流を深めることができた。</p>		<p>東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業を引き続き実施するとともに、四平市との親善交流を実施していく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	